



学校だより

伸びゆく子

令和 7 年 6 月 30 日
横浜市立中沢小学校
7 月 号

宿泊体験学習で見られた子どもたちの姿

副校長 前山 健

厳しい暑さが続いています。学校では毎日、暑さ指数(WBGT)の確認と共有を欠かさず行い、体育や外遊びの活動時間の調整、水分補給の呼びかけなど、熱中症防止に努めています。危険な暑さの中では、子どもたち自身の判断に委ねることなく、学校として安全を最優先に対応しています。音楽朝会も、体育館から冷房の効いた教室での放送朝会へと変更しました。今後も、子どもたちの健康を守るための対策を継続してまいります。

さて、6月には4年生が七沢、5年生が三浦へ宿泊体験学習に出かけました。この行事は、学校や家庭を離れた環境での体験や見学を通して、社会科を中心とした学びを深めるとともに、集団生活の中で規律ある行動や自主性を育てることを目的としています。自然の中での活動を通して、子どもたちは多くの学びと成長を見せてくれました。

どちらの学年でも、子どもたちが「自分たちでやってみよう!」と目を輝かせて活動に取り組む姿がとてかわいらしく、微笑ましい光景がたくさん見られました。三浦の磯遊びでは、「これは戻してあげよう」と小さな命を思いやる優しい声が聞かれ、野外炊事では「火が弱いから薪を足そう」と班で相談しながら工夫する姿が印象的でした。七沢の森林ゲームでは、地図を手に「こっちの道だよ!」と仲間に道を教える姿や、クラフト体験で完成した作品を見せ合って喜ぶ姿も見られました。部屋では「次は何するんだっけ?」としおりを確認し合いながら、時間を守って行動する姿に、子どもたちの成長とともに、仲間と過ごす時間を大切にしている様子が伝わってきました。活動班や部屋班の友達と声をかけ合いながら、自分たちで考え協力して行動する姿は、どれも一生懸命で愛らしく見ているこちらまで温かい気持ちになりました。帰校後には「また行きたい!」「すごく楽しかった!」と笑顔で話す子が多く、心に残る素敵な体験になったことがうかがえました。



三浦での磯遊び

仲間と響き合い、互いを認め合い、支え合う姿が印象的でした。「仲間といるのがとても楽しかった」という感想からも、子どもたちが本来もっているよさが引き出され、確かな成長があったことが伝わってきます。今後も、地域や保護者の皆様のご理解ご協力を賜りながら、子どもたちの学びと育ちを支えてまいります。